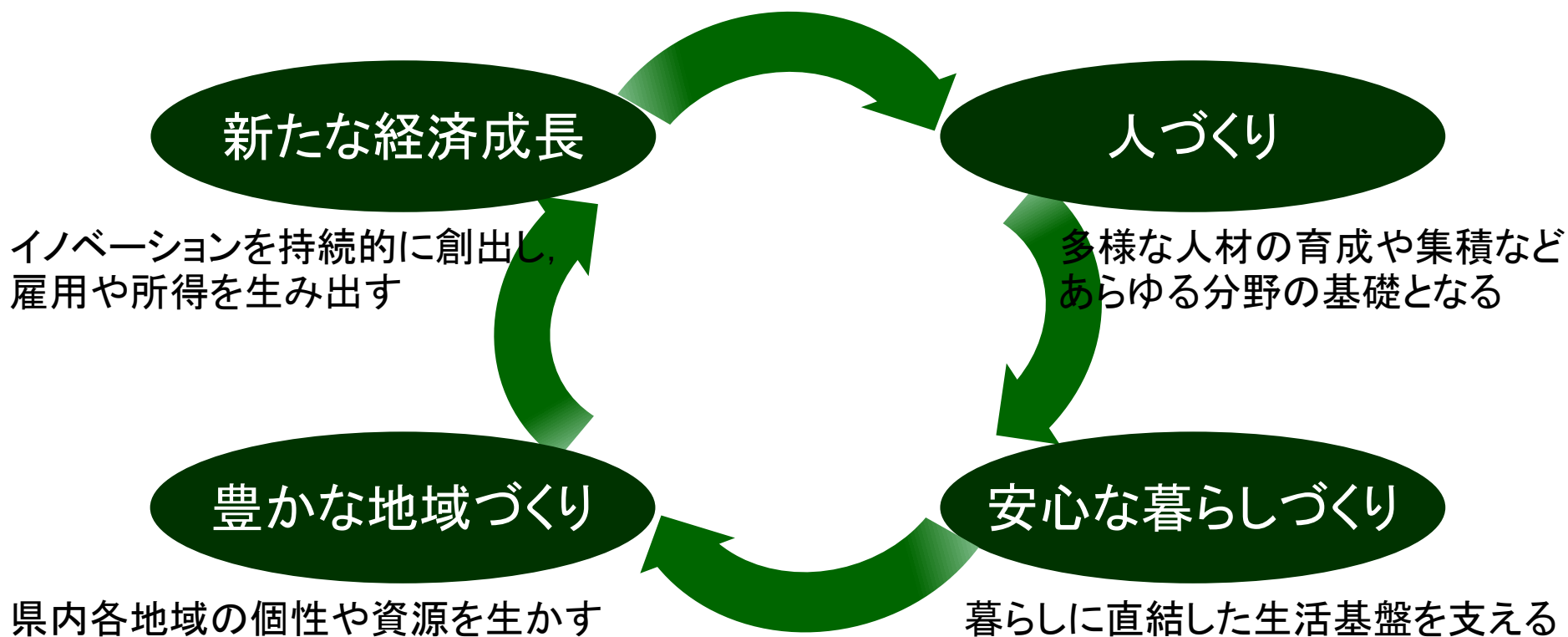


ひろしま未来チャレンジビジョン改定版
(広島県まち・ひと・しごと創生総合戦略)

平成27(2015)年10月

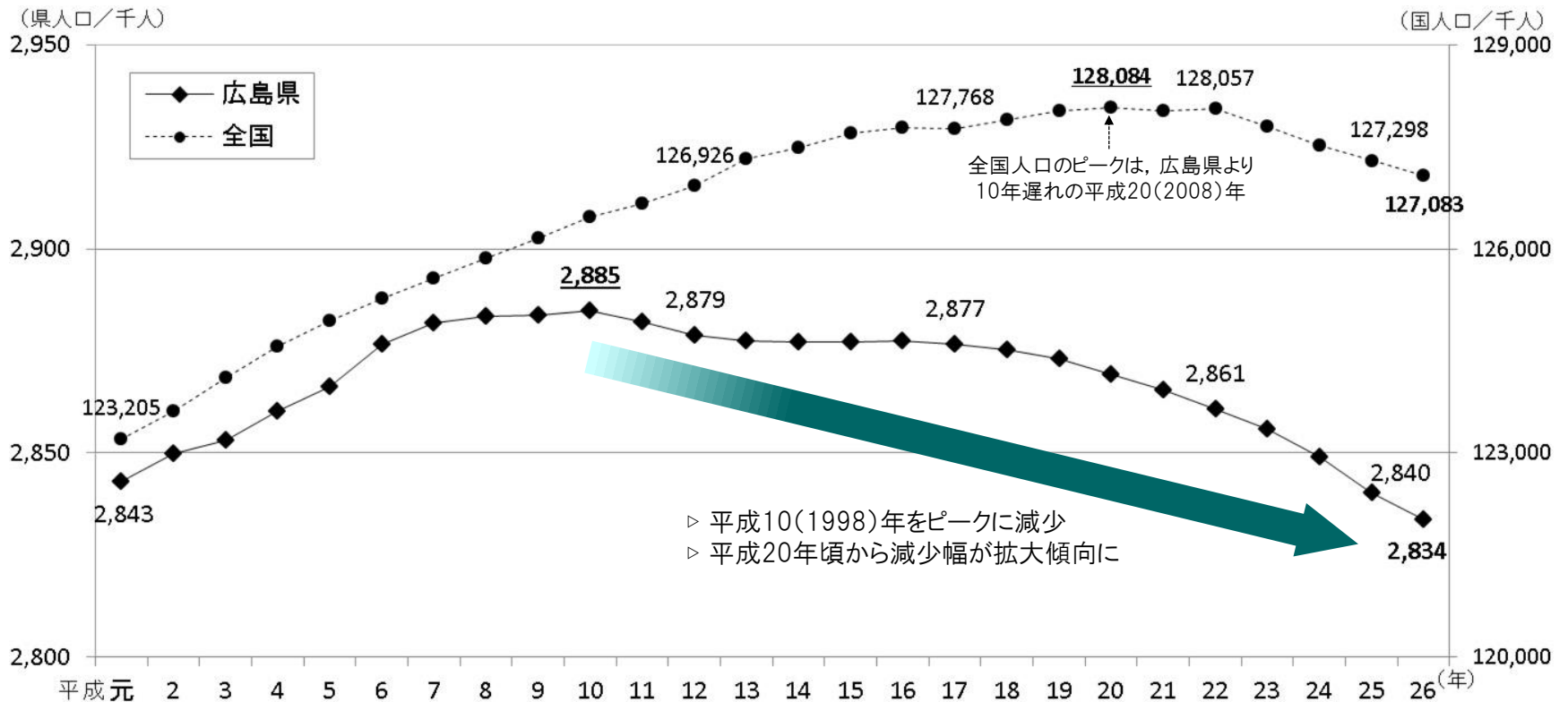
ひろしま未来チャレンジビジョン

本県の目指す姿(将来像)を県民と共有し、一緒に、新たな広島県づくりを推し進めることを目的に、平成22(2010)年10月に策定し、4つの政策分野を相互に連関させ、相乗効果をもたらしながら好循環する流れをつくり出してきました。



本県人口の現状

人口減少の進行



- ▷ 合計特殊出生率は改善傾向にありますが、若い世代の人口減少や晩婚化の進行により出生数は減少が続き、死亡数を下回る「自然減」の状況にあります。
- ▷ 進学・就職期の若者を中心に、県外転出者が転入者を上回る「社会減」が続いています。

将来を展望する上で、特に考慮が必要な情勢変化

❖ 人口減少の進行

今後、団塊ジュニア世代が人口再生産年齢を過ぎることで出生数の減少は更に進むおそれがあります。

- 一方で …▷ 県民の希望出生率1.85 ※26年の広島県の合計特殊出生率は1.55
- ▷ 県内高校生・大学生の6割超が県内進学・就職を希望
- ▷ 県出身の東京・大阪圏在住者の7割がUターンを検討

このような「子供を持ちたい」「広島に住み続けたい」という県民一人ひとりの希望を実現できる社会をつくり出すことが必要です。

❖ 東京一極集中の加速化

景気回復や東京オリンピック開催で今後も加速すると予想される東京一極集中について、その流れを逆転し、広島への流れをつくり出す必要があります。

❖ グローバル化新局面の到来

アジアの経済成長に伴う競争激化、外国人観光客の大幅な増加など、グローバル化の新たな局面への的確な対応が必要です。

❖ 安全・安心に対する意識の高まり

東日本大震災や県内での大規模土砂災害をきっかけとする防災意識の高まりを、県民の皆さんと共に具体的な行動につなげていく必要があります。

改定の趣旨

- ・ チャレンジビジョン策定から5年経過し、本県を取り巻く社会経済環境が大きく変化



様々な情勢変化を踏まえ、これまでの取組の成果や変化の兆しをより確かなものに

- ・ 国においても、人口減少・超高齢化という課題に対応するため、地方創生に係る大胆な政策の実行を打出し



これまで本県がチャレンジビジョンに基づいて進めてきた取組を更に加速する追い風に



本県の目指す姿の実現に向けて、県民の皆様と一緒に「**一步先へ**」踏み出すため、チャレンジビジョンを発展的に見直し、新たな挑戦を推し進めます。

目指す姿 ★今後5年間で目指す姿を県民の皆様と共有するため、新たに設定

基本理念を基に、

仕事でチャレンジ！暮らしをエンジョイ！ 活気あふれる広島県

～仕事も暮らしも。欲張りなライフスタイルの実現～

を目指します。

《県民一人ひとりが主役の新しいライフスタイル》



長距離通勤と残業で
帰宅後はいつもぐったり

趣味のお稽古にも、
最近行ってないなあ。

早く帰って子供との
時間を大切にしたい…

キャリアアップは
あきらめて、仕事を
セーブしないと。



仕事優先？
暮らし優先？

広島県は、
どちらもあきらめ
ない、欲張りな
ライフスタイルを
応援します！



暮らしの充実⇒仕事の生産性up!⇒欲張れる好循環へ

目指す姿の実現に向けた視点

目指す姿の実現に向けて、4つの政策分野の好循環をより一層推進するため、次の3つの視点を掲げています。

イノベーション

フロンティア精神にあふれた県民性を生かし、
様々な分野でイノベーションを起こして、
生産性や暮らしの利便性の向上を図る。

ファミリー・フレンドリー

保育・教育・医療の充実、住環境の向上
など、家族で住みたい環境づくりを通じ、誰
もが暮らしやすい広島県の実現を目指す。

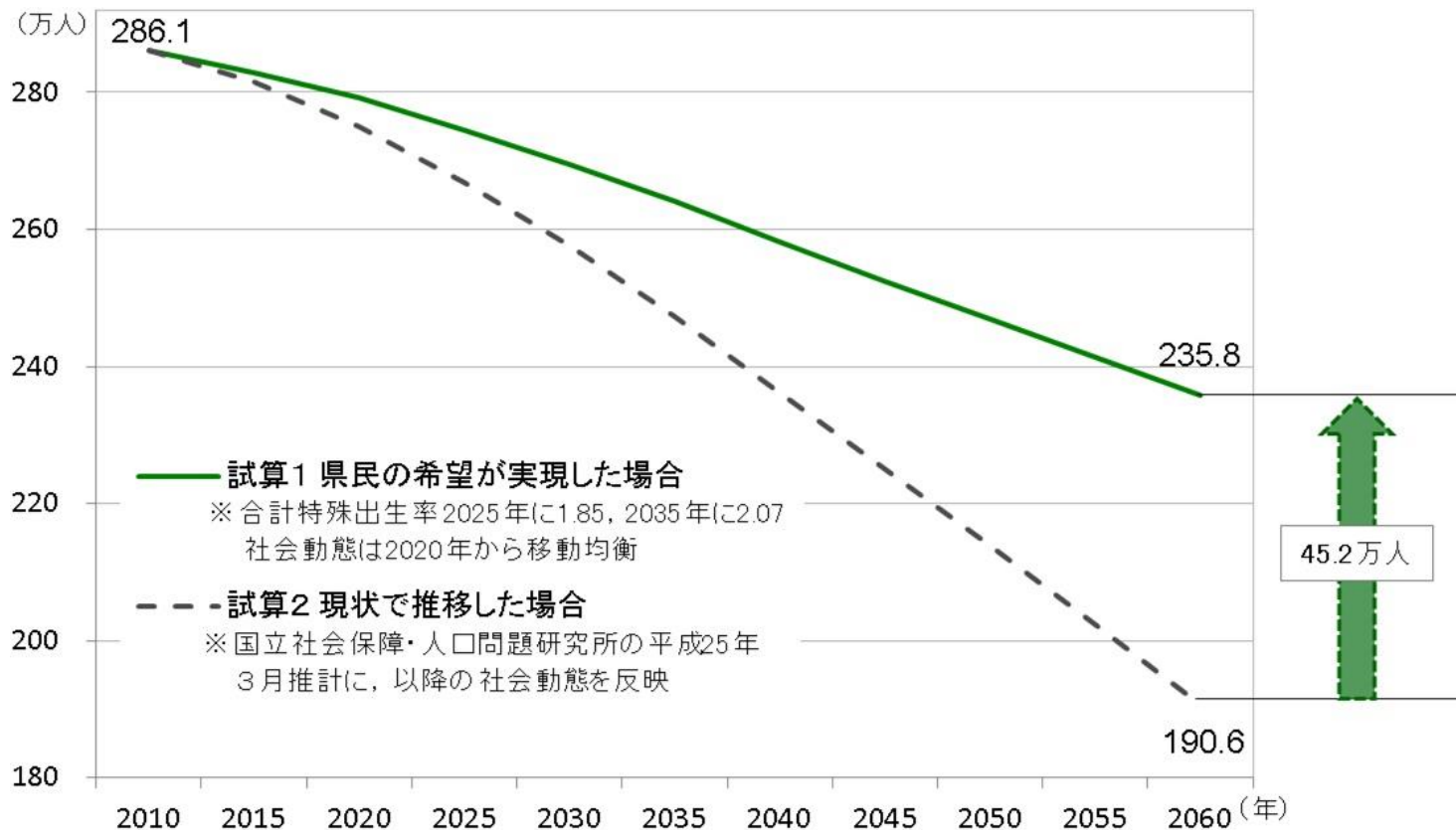
都市と自然の近接ライフ

都市と自然が近く、どちらの魅力も満喫でき
る環境を生かし、都市も自然もスマートに楽
しむライフスタイルの魅力に磨きをかける。

広島県独自の強みや広島県が元々持っている素地を生かした
この3点を統一的な視点とすることで、施策全体の統一性が高まり、
目指す姿の実現に向けた大きな推進力になると考えています。

本県人口の将来展望

- 現状で推移した場合、2060年の人口は200万人を下回る見込みです。
- 出生や社会移動に関する県民の希望が実現することで、合計特殊出生率や転出超過が改善した場合、2060年の人口は約235万人となり、現状で推移した場合と比べて約45万人の押し上げ効果が期待できます。



4つの政策分野の主な取組

【取組の方向】（主なもの）

- ❖ 県民の結婚・妊娠・出産の希望をかなえる切れ目のない支援を進めます。

- ▶ 若者の出会い・結婚への支援
 - ・ ひろしま出会いサポートセンター
(26.8.1開設)
結婚を希望する人に、出会いの場などの情報を発信
 - ・ 「こいのわ」プロジェクト(27.6～)
結婚したい若者を県民みんなで応援する
啓発プロモーション
結婚おせっかい団体の創出
婚活イベントなど出会いの創出
- ▶ 不妊治療支援体制の充実
 - ・ 不妊検査費助成(27.7～)
従前から行っている不妊治療費助成に加え、早期治療に結び付けるための不妊検査費助成を開始



【取組の方向】（主なもの）

- ❖ 東京圏で高まりつつある地方移住の機運を取り込み、定住につなげる仕組みづくりを進めるとともに、新卒大学生のUIJターン就職を促進します。

- ▶ 「都市と自然の近接性」という地域特性を生かした広島らしいライフスタイルの魅力の発信や定住相談窓口などの定住サポート体制の強化等による移住・定住の促進
 - ・ ふるさと回帰支援センターに定住相談窓口を設置 (26.7～)

新規相談件数 801件 (26.7.14～27.9.30)

うち定住につながった件数 13世帯



HIROBIROひろしまint-キョー
vol.5の様子 ⇒



ひろしま暮らしサポートセンター
(東京有楽町/ふるさと回帰支援センター)



広島らしいライフスタイルを発信するサイト「HIROBIRO.」

【取組の方向】（主なもの）

- ❖ 女性の活躍促進に取り組む企業の拡大を図るとともに、女性がその能力を生かすことができる環境を整備します。

- ▶ 女性の就労継続や正社員を目指した再就業，創業など多様な働き方の支援

- わーくわくママサポートコーナー

(ひろしま 24.3, ふくやま 27.1開設)

出産・子育て期に当たる女性の就業率が落ち込む「M字カーブ」の解消を目指し，働きたいという希望を持つ子育て中の女性を支援



わーくわくママサポートコーナーひろしま
相談ブース

開設～26年度の実績

相談者 延べ2,303人
(実1,342人)
就職者 417人

【取組の方向】（主なもの）

- ❖ これまでの「知識ベースの学び」に加え、「これからの社会で活躍するために必要な資質・能力（コンピテンシー）の育成を目指した主体的な学び」を促す教育活動に取り組みます。

人材育成のための主な施策(世代別)



社会人



大学生



中高生



小学生



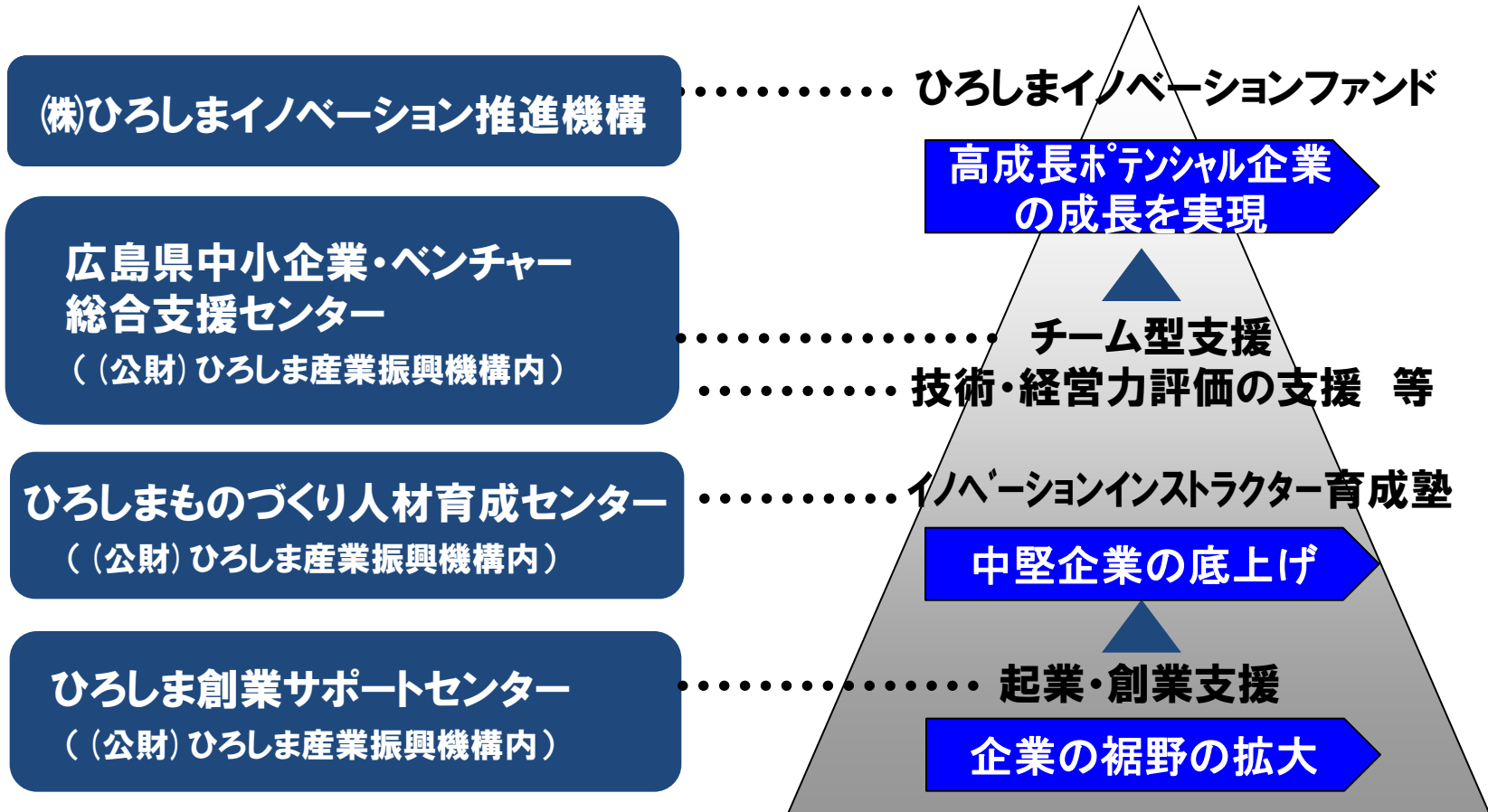
幼児期

- ◆ プロフェッショナル人材マッチング支援
- ◆ 高度産業人材の育成
- ◆ ひろしまイノベーションリーダー養成塾
- ◆ グローバル人材の採用支援
- ◆ 県内大学への留学生倍増・県内企業定着
- ◆ 高度人材の育成, 大学連携による人材育成
- ◆ 海外姉妹校提携や海外留学の促進
- ◆ 広島版「学びの変革」アクション・プラン
 - ～小・中・高等学校における学力向上
 - ～フレキシブルスクールやグローバルリーダー育成校(仮称)の検討 等
- ◆ 全県的な幼児教育の質の確保

【取組の方向】（主なもの）

- ❖ イノベーション・エコシステムの構築や創業・第二創業の支援，多様な投資誘致などにより，企業の付加価値・競争力を上げるイノベーション力の徹底強化に取り組みます。
- ❖ 成長産業の育成支援に重点的に取り組みます。
- ❖ 県内企業による海外成長市場への参入・獲得を推進します。

- ▶ 産学官の強固なパートナーシップのもと新しい事業展開が次々と生まれる環境(イノベーション・エコシステム)の構築
- ▶ 専門家による総合的な支援等による創業・第二創業の促進



【取組の方向】（主なもの）

- ❖ 実需者ニーズに応える農産物の流通改善，生産体制を構築し，販売戦略の実現に向け取り組みます。

▶ 地域農業をけん引する経営力の高い担い手の育成

- ・ 経営発展を目指す意欲ある担い手を支援
- ・ 大規模団地の形成や新規就農者の育成

▶ 県産農産物の県内シェア拡大

- ・ キャベツやレモンなど収益性の高い品目ごとに販売戦略を構築

大規模団地でのキャベツ栽培



ひろしま農業経営者学校



【取組の方向】（主なもの）

- ❖ 「ひろしまブランド」・「瀬戸内ブランド」の確立に向けた観光情報発信の強化や地域の特色を生かした魅力ある観光地づくりに取り組みます。

▶ 観光資源の魅力を伝える戦略的なプロモーションによる観光地ひろしまの認知度向上

“ほんもの”の広島の魅力と広島での旅の楽しみ方を伝える戦略的な情報発信を展開

総観光客数：(H22)5,577万人⇒(H26)6,181万人
観光消費額：(H22)3,030億円⇒(H26)3,610億円
外国人観光客数：(H22)61.8万人⇒(H26)104.7万人



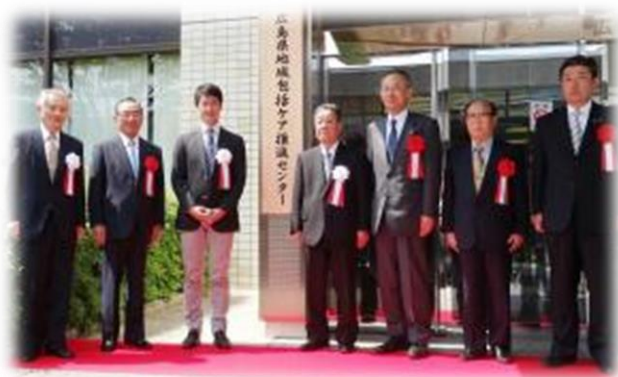
【取組の方向】（主なもの）

- ◆ 医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を、行政・関係機関・住民が一体となって進めます。

- ▶ 多職種が連携した在宅医療の推進
- ▶ 自立した生活を支える多様な介護サービスの質の向上，介護基盤整備の促進

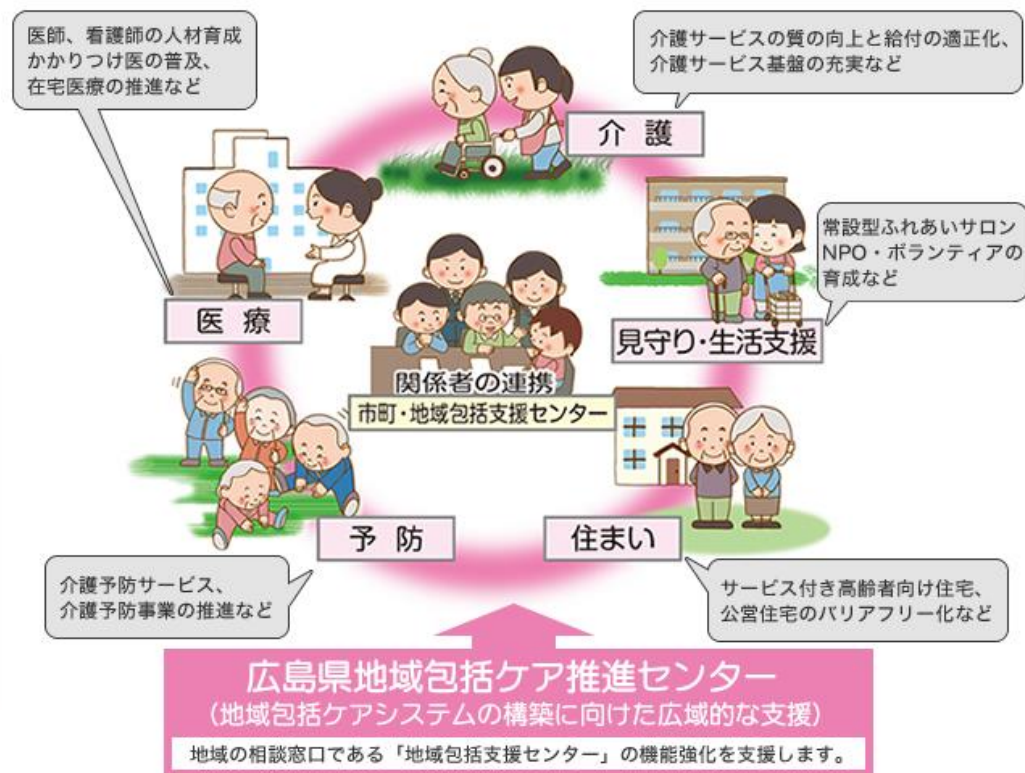
・ 広島県地域包括ケア推進センター (24.6設立)

地域包括ケア体制の全県での構築を推進



地域包括ケアシステムの構築

～地域での医療・介護・福祉・保健の連携体制づくり～



【取組の方向】（主なもの）

- ◆ 県民，自主防災組織，事業者，行政等が一体となって「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」を強力に展開し，災害に強い広島県を実現します。

- ▶ 県民が災害から命を守るために、「知る」、「察知する」、「行動する」ことができ、また、普段から災害に備えるために、「学ぶ」、「備える」ことができるよう、必要な取組を推進
- 広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動(27.4～)

県民，自主防災組織，事業者，行政等が
一体となって展開中



報道機関の気象予報士，防災士，キャスターなど8名を
「みんなで減災」推進大使に任命



一斉防災教室(27.5.18-6.7)の様子
(広島市立戸山中学校)

【取組の方向】（主なもの）

- ❖ 「瀬戸内ブランド推進連合」において、国内外へのプロモーションや瀬戸内の魅力を体感する環境整備、観光関連サービス、地域産品などのプロダクトの開発誘導の充実に取り組めます。

- ▶ 瀬戸内ブランドの浸透・定着に向けた共同プロモーション
- ▶ 瀬戸内ブランド形成に向けた推進体制の構築
- **一般社団法人 せとうち観光推進機構** (28.4設立予定)

瀬戸内エリア全体を俯瞰して、地域ブランドの形成をマネジメントするため、「瀬戸内ブランド推進連合」を発展改組

新法人の目標

◇瀬戸内への来訪意向

2013年：27.9% ⇒ 2020年：50%

◇外国人延宿泊者数

2013年：120万人泊 ⇒ 2020年：360万人泊



【取組の方向】（主なもの）

- ❖ 自主的・主体的な地域づくりを支える多様な人材の育成・ネットワークづくりに取り組みます。

▶ 地域における《つながり力》の強化と活躍人材の育成・ネットワークづくり

中山間地域の価値に共鳴する人を呼び込み、また、地域の資源や特性を強みとして生かすことに重点を置いた上で、地域づくりの原動力となる人づくりを推進

発想が生まれる土壌を創る！
「里山・里海リレーシンポジウム」



里山・里海リレーシンポジウム
in呉(27.8.8)

県内のソーシャル人材を育てる！
「ひろしま『ひと・夢』未来塾」



第1回講座(27.7.25)

首都圏からソーシャル層を呼び込む！
「ひろしま里山ウェーブ拡大プロジェクト」



オープンセミナー(27.8.30)〈代官山〉

究極のホームタウンへ

県民の皆さんが広島豊かな魅力を自ら楽しみ、
県外の人々にも広く発信することで、
広島県が多くの人々にとっての**“究極のホームタウン”**と
なるよう、取り組んでいきます。

